

鉄道係員に対する暴力行為の件数・発生状況について (2021年度上期/大手民鉄16社)

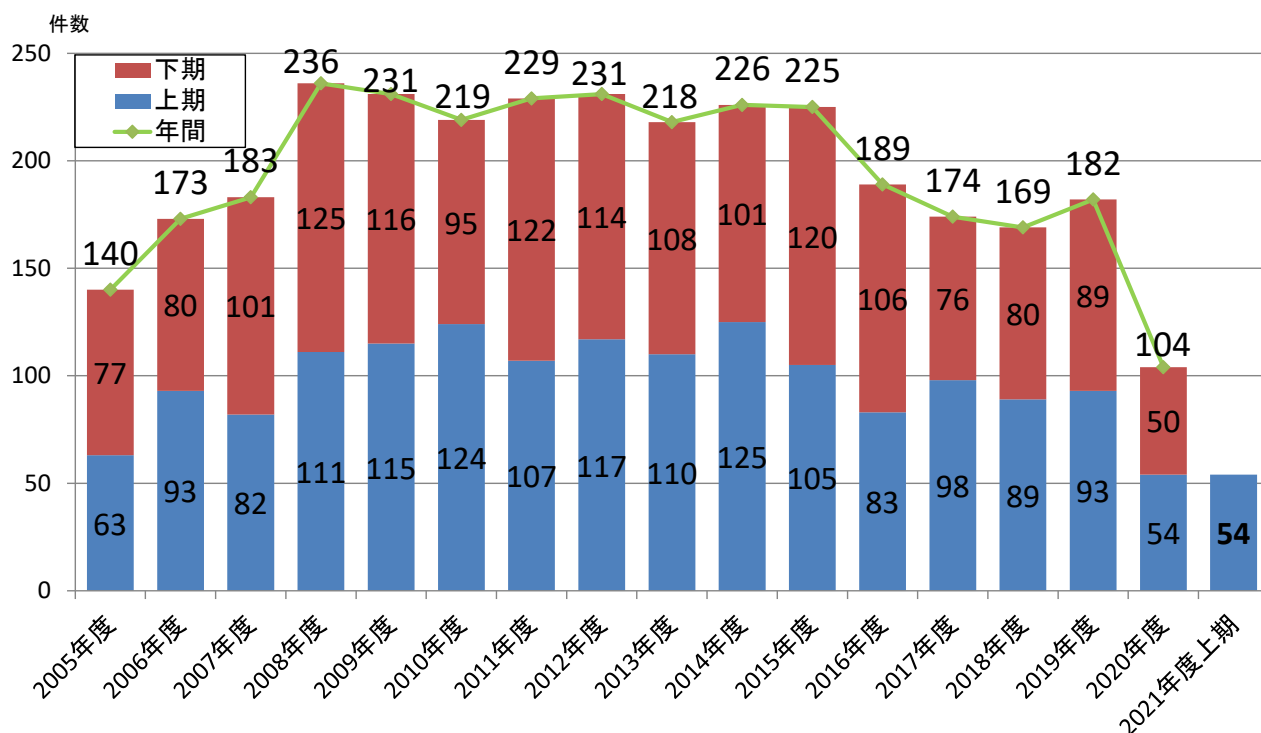
日本民営鉄道協会では、大手民鉄16社（東武、西武、京成、京王、小田急、東急、京急、東京メトロ、相鉄、名鉄、近鉄、南海、京阪、阪急、阪神、西鉄）における2021年度上期（4月～9月）6ヶ月間に発生した駅係員や乗務員等の鉄道係員に対する暴力行為の件数について集計を行ったところ、暴力行為の発生件数は54件と、前年同期と同数でした。

本年度上期においては、暴力行為の発生件数は横ばいでしたが、4月25日から9月30日まで、長期にわたり緊急事態宣言が発令され、人流が抑制されていたことを踏まえると、軽視できる状況ではないと言えます。

暴力行為が発生する状況としては、鉄道係員が迷惑行為を注意した時や、はっきりとした理由が見当たらないケースが多く、時間帯については深夜帯（22時～終電）、日中（9時～17時）の順に多く発生しています。また、加害者年齢は幅広い年代に分布しており、半数以上が酒気帯び状態で暴力行為に及んでいます。

犯罪である暴力行為をなくし、安全で快適な鉄道を維持するため、当協会では引き続き啓発ポスターの掲出など各種の取り組みを実施してまいります。

年度別 暴力行為発生件数



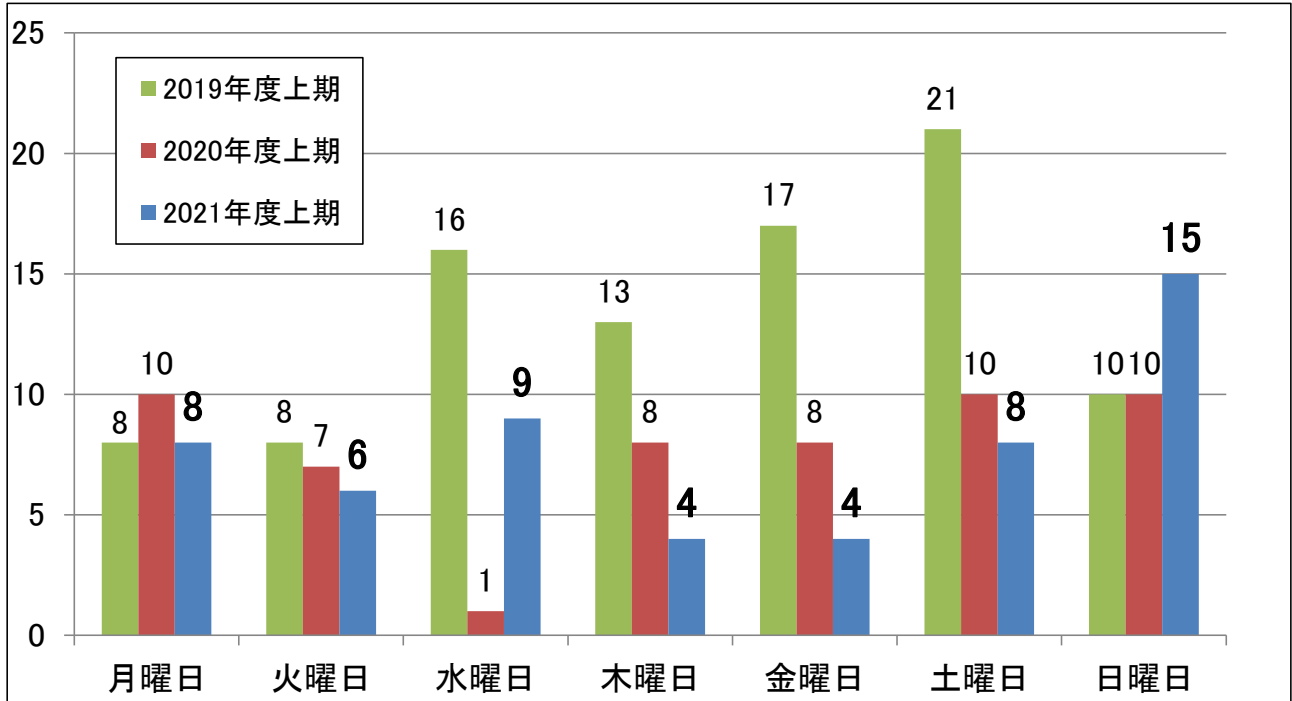
(参考) 以下の項目の集計結果を別紙にて紹介しています。

- 1.曜日別 発生件数
- 2.時間帯別 発生件数
- 3.主な場所別 発生件数
- 4.主な契機別 発生件数
- 5.加害者年齢
- 6.加害者の飲酒状況
- 7.具体的事例

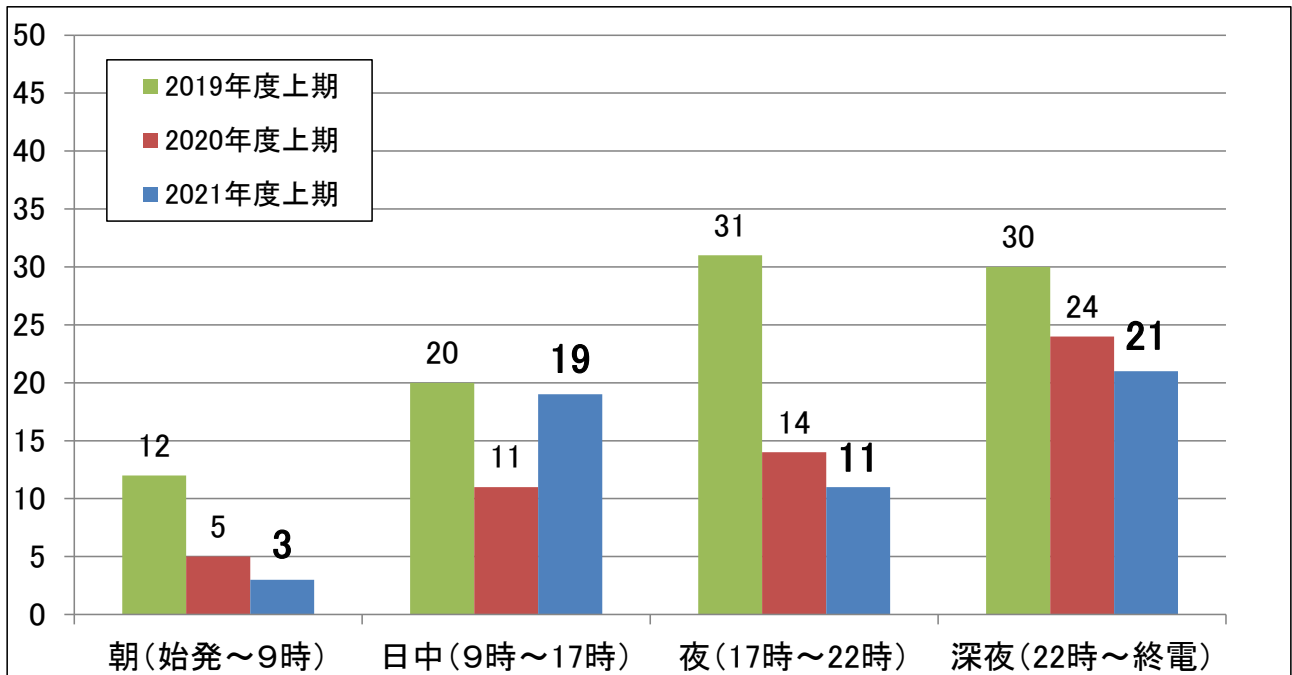
※なお、別紙に記載しておりますこと以外の詳細な内容や件数は公表しておりません。

鉄道係員に対する暴力行為の発生状況別件数・具体的事例等(詳細)

1. 曜日別 暴力行為発生件数

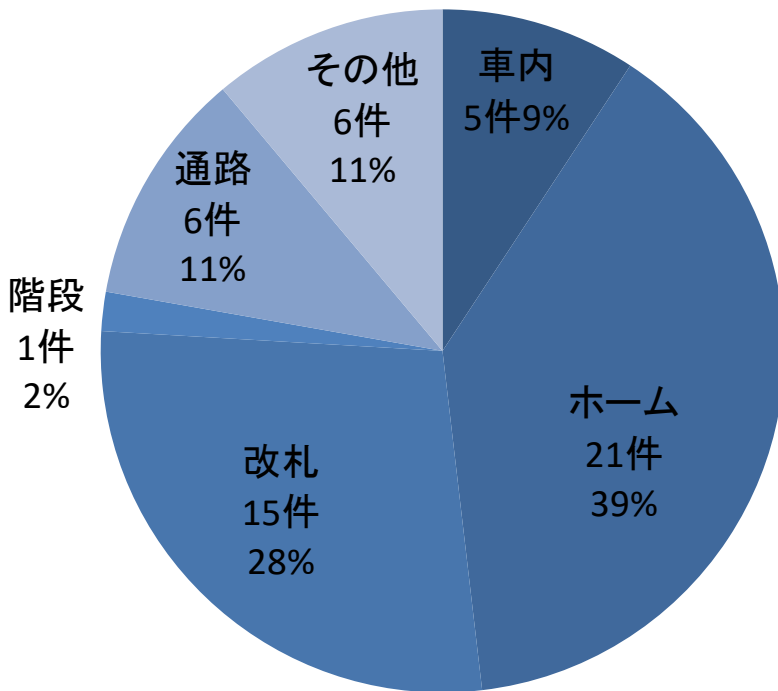


2. 時間帯別 暴力行為発生件数

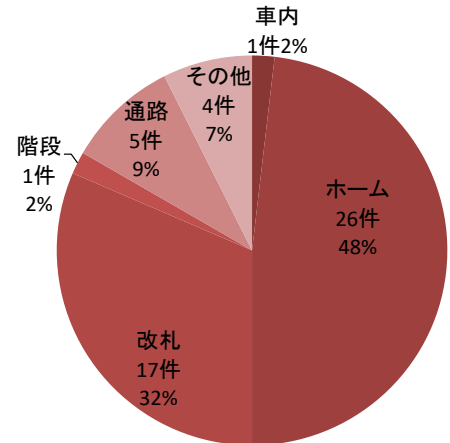


3. 主な場所別 暴力行為発生件数

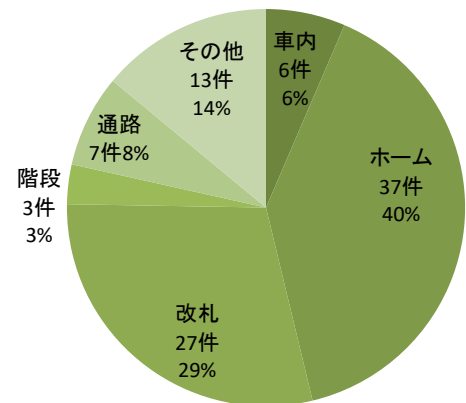
2021年度上期



2020年度上期

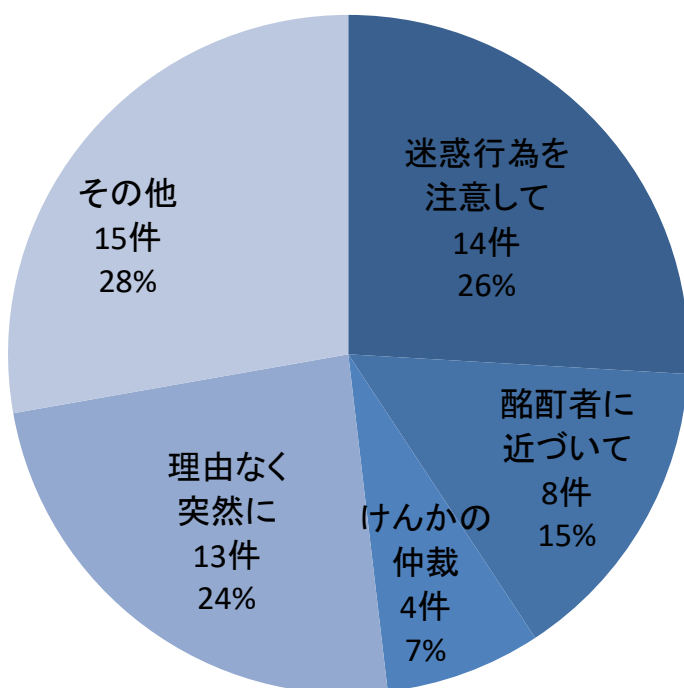


2019年度上期

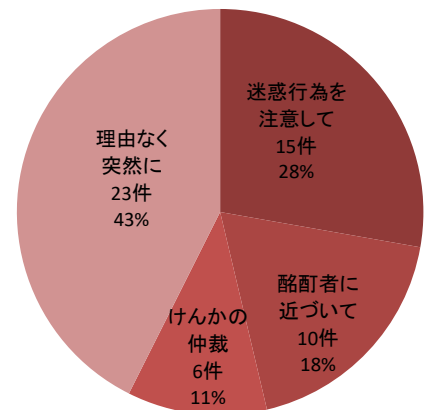


4. 主な契機別 暴力行為発生件数

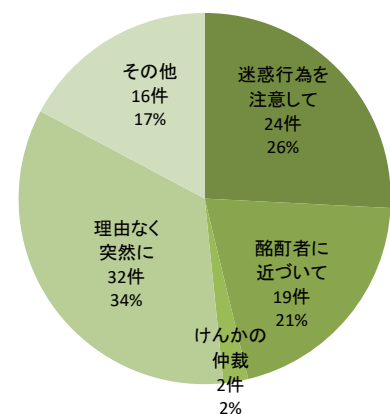
2021年度上期



2020年度上期

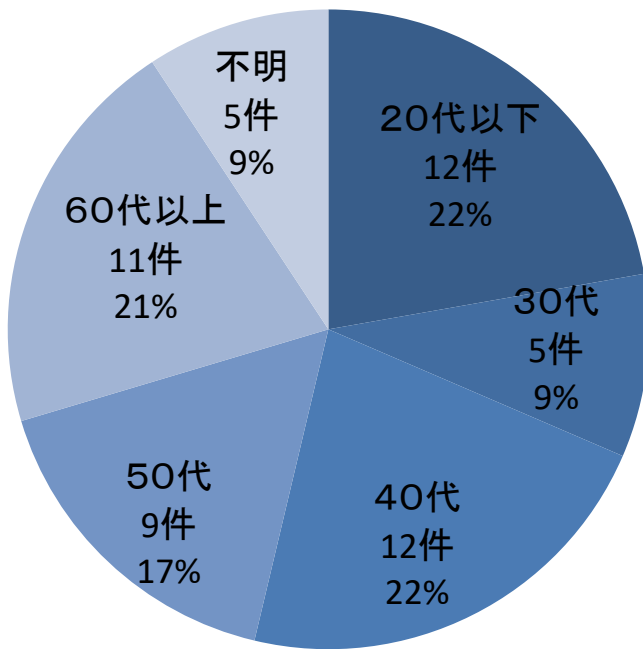


2019年度上期

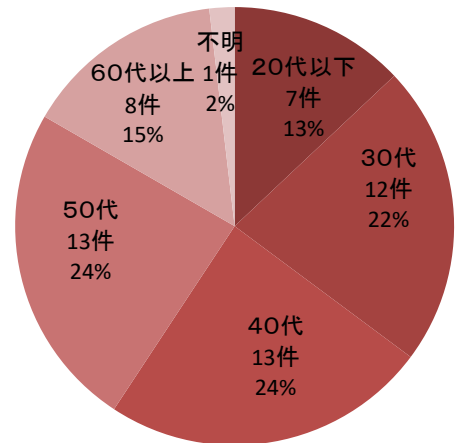


5. 加害者年齢

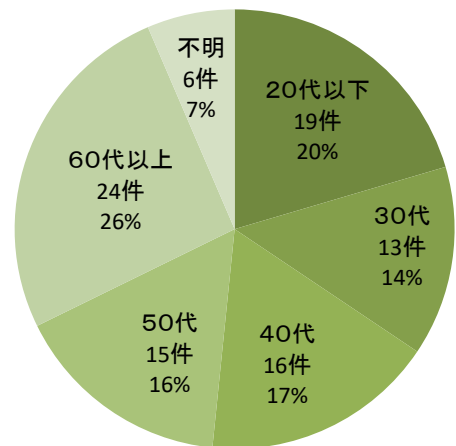
2021年度上期



2020年度上期

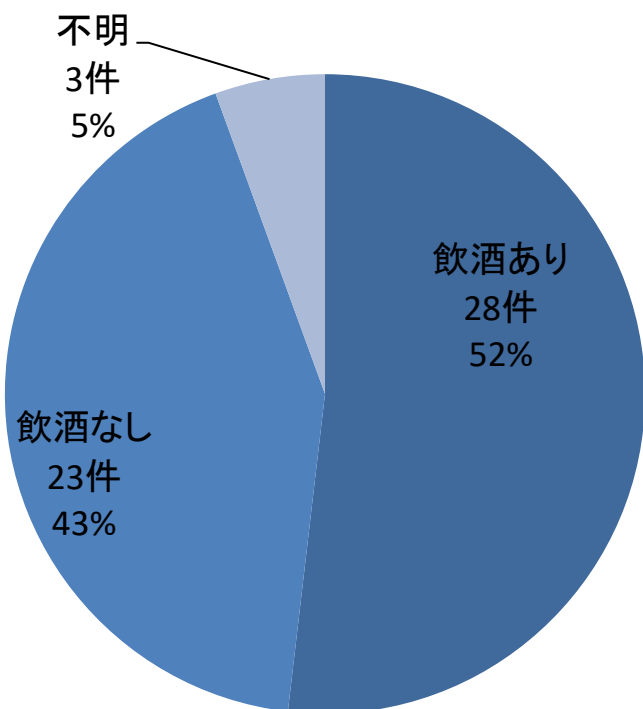


2019年度上期

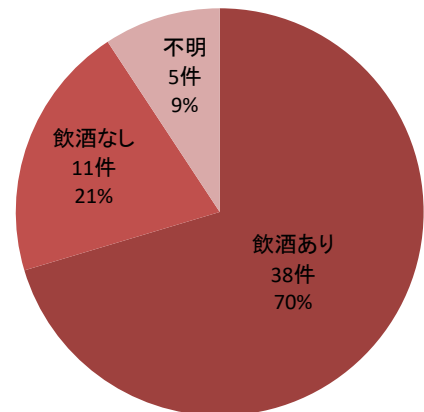


6. 加害者の飲酒状況

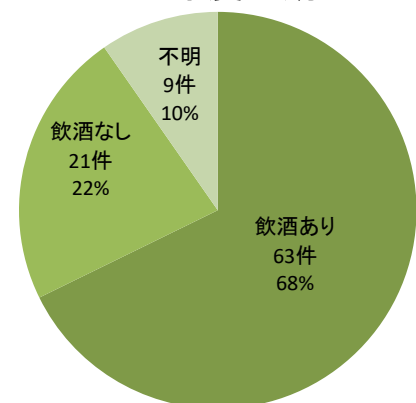
2021年度上期



2020年度上期



2019年度上期



7. 具体的事例

【事例1】

曜日	月曜日	時間帯	深夜 (22時～5時)	場所	ホーム
契機	酩酊者に近づいて	年齢	不明	飲酒	あり

被災者は当駅止まりの列車を車内点検中、隣の車両で他係員が酔客対応を行っていたため応援に向かった。加害者は泥酔しており、他係員とともに加害者の左右両脇から二の腕付近を抱えるようにしてホーム上に誘導しているときに、腕を強引に左右へ振られ肘が被害係員の胸中央付近を2回直撃した。その後も加害者が腕を左右に振り続けたため危険と判断し、ホーム上の安全な箇所に横たわらせたところ左前腕に噛みつかれた。

【事例2】

曜日	金曜日	時間帯	深夜 (22時～5時)	場所	ホーム
契機	迷惑行為を注意して	年齢	40代	飲酒	あり

被災者は、ホームに停車していた列車の1両目の車体側面を蹴っている40歳代男性を発見し、当該の男性を制止しようとしたとき、突然、右手握り拳で左頬を殴打され受傷した。

【事例3】

曜日	日曜日	時間帯	深夜 (22時～5時)	場所	倉庫前
契機	理由なく突然に	年齢	30代	飲酒	なし

被災者は、作業用自動車から荷下ろし中に、パチンと小石が車体に当たる音を数回認めたと、左腕に痛みが走り、痛みがあった箇所を確認すると少し赤みがあった。足元にBB弾が転がっているのを認め、エアガンで左腕を撃たれたことが分かった。

【事例4】

曜日	金曜日	時間帯	深夜 (22時～5時)	場所	ホーム
契機	けんかの仲裁	年齢	20代	飲酒	あり

被災者は、ホームにいる係員から、興奮状態で言い争っている酩酊者がいるとトランシーバーで応援要請を受け現場へ赴いた。他係員2名とともに酩酊者を制止しようとした際、激しく抵抗され酩酊者の右手がこめかみ付近と眼鏡に当たり負傷した。